

## 令和2年度 鹿児島学習定着度調査の結果について

向春の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じ上げます。さて、令和3年1月13日（水）～14日（木）に実施した鹿児島学習定着度調査の結果概要をお知らせいたします。

この調査は鹿児島県の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における学習指導に役立てることを目的としています。本校でも、その目的を押さえつつ、教育課程や授業改善に生かして参りたいと思っております。

なお、この結果については、本校の5年生を対象に国語・社会・算数・理科の4教科を分析したものであり、必ずしも本校全体の教育活動の結果を表すものでないことを申し添えます。

今後とも、本校の教育に御理解・御協力をいただくようお願い申し上げます。

### 1 本校・県の平均通過率の比較（％）

教科	東谷山小	鹿児島県	教科	東谷山小	鹿児島県
国語	77.8	75.0	算数	73.2	69.4
社会	71.9	75.5	理科	75.0	74.9

※ 県では、各教科の通過率を7割に設定し、調査問題を作成しています。

### 2 本校の課題

#### 《国語》

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめたり、目的や意図に応じて自分の考えを明確にして伝わるように書くこと、ことわざの意味の理解に課題が見られました。

#### 《社会》

文章や資料を読んでデータの値に着目し、傾向を説明すること、提示された資料を比較して読み取ったことを基に説明することに課題が見られました。

#### 《算数》

小数と小数の乗法計算、図形の性質、平均の求め方を解釈し説明すること、折れ線グラフから変化の様子を説明することに課題が見られました。

#### 《理科》

予想したことに対する実験結果の見通しを、適切に考察することに課題が見られました。

#### 《全体》

文章と図、表、グラフ、資料等を関連付けたり、根拠を基にして自分の考えを記述したりすること、習得した知識・技能を日常生活の場面で活用していくこと等の「思考・表現」の問題に課題が見られました。

### 3 今後の対策について

- ① 定着が図られていないことが明らかになった問題については、過去問や類似問題に繰り返し取り組みさせ、確実に身に付けさせるようにします。
- ② 引き続き、算数科における少人数指導（5年生）の効果的な実施、学習内容の定着が不十分な児童に対する個別指導、補充指導など、個に応じた指導の充実を図ります。
- ③ 「東谷山小授業のスタンダード」を基に、比較・関係付けを視点として、子供が主体的・対話的で深い学びにつながる授業を展開していきます。
- ④ 本調査で課題となった思考力・表現力等を強化できる演習問題に、計画的・継続的に取り組みます。（授業の中での実施や週末課題、春休みの課題 等）
- ⑤ 令和3年度の職員研修テーマを「学びを深め、全員が楽しく『わかる・できる』国語科授業を目指して～系統を踏まえた説明文の指導～」と設定し、指導法改善に努めていきます。
- ⑥ 令和3年度から、東谷山中学校のテスト期間に合わせ、本校でも「スタチャレ（スタディーチャレンジの略）週間」を設定し、家庭と連携した基本的な生活習慣づくりや家庭学習の充実を図っていきたいと考えています。御協力をよろしくお願いいたします。